

R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2010 - 2011 年度 R 会長 レイ・クリングスミス
2010---2011 年度 魚津 R.C 会長 宮本 汎



第 2744 回 例会報告

2010年 9月 10日

ゲストならびにビジター紹介

ゲスト 魚津市企画政策課主幹 稲村 修 様
富山第一分区ガバナー補佐 魚津 寛 様



誕生祝 9月6日 金山君

本日はどうもありがとうございました。6日で53才になります。私が社会に出た時の父親の年令です。当時の53才は今より重みがあったなあと思います。私もその重みに近づけるように頑張りたいと思います。



9月10日 中島(尚)君

今ほどはお祝いしていただき、ありがとうございました。今日で55才です。精神年齢は30代のまま変わりませんが、肉体的には故障が出ており「五十肩」になっています。ドクターから腕を動かすように言われているので、一生懸命ゴルフのクラブを振っています。これからは明るく元気よく前向きに人生をエンジョイしていきたいです。



会長挨拶



今日本には100才以上の人が4万人ほどいます。人口比率で多い順に、カナダ、イタリア、日本、イギリス、ドイツとなります。アメリカには6万数千人の人がいます。先進国だけで15万人、世界には約30万人位います。大隈重信は120才まで生きる、と言ったそうですが、みなさん人間は何才まで生きられると思いますか(限界寿命)。答えは120才です。120才までは生きる可能性がありますが、それには減塩食が大事です。

統計では西高東低で沖縄に高齢者が多く、北海道・東北・関東・北陸などは塩分が多いんです。塩の加減でみると沖縄は東北の6割しか取っていません。それと魚と野菜をたくさん食べる。それが長生きする秘訣です。みなさん「役に立つ長生き」となるよう よろしくお願ひします。

幹事報告

黒部RCより 9月度例会案内

魚津しんきろうマラソン実行委員会より 第31回大会の協賛お願い

魚津市暴力追放運動推進協議会より

H22年度魚津市民大会の開催について

・9月例会案内 9月17日 卓話 杉野君 若井君 (サンルート)

9月26日(日) 早朝例会 午前6時30分～

(海の駅屋気楼)

・9月SAA補助 朝野君 谷君 羽田君 よろしく申し上げます。

親睦ゴルフ大会&懇親会のご案内 10月3日(日) 11:07スタート 魚津国際CCにて



出席報告

本日の出席者 30名 出席率 90.90% 欠席者 3名

メイクアップ済み 杉野君、辻英晴君

2742回のメイクアップ 愛宕君、池上君

2742回修正出席率 81.81% 87.87%

ニコニコボックス

魚津 寛 様

吉森さん 昨夜東京から帰ってきました。8日品川のパシフィック東京で石塚レイキ先生の健康フォーラムに参加しました。とっても良かったです。

中島久義君 久しぶりに出席します。今年はサンマ漁が大不漁で「サンマジャンボ宝くじ」に当たりますように、先日先輩からカボスが届きましたが、カボスをかけて食べるサンマが届きません。

宮本会長 台風の被害もなく良かったです。

委員会報告

会員委員会 辻(浩)委員長

選考・増強 職業分類の三つが一つになって「会員委員会」になっています。先般理事会 委員会を開き、新入会員の入会について承認されました。中川正昭さん、元本江小学校校長で職業分類は「教育者」です。住所は駅前新町、昭和19年9月2日生まれです。全体委員会にお謀りしますが、ご異議のある方はおられますか。なければ拍手により「承認」をお願いします。拍手 只今全体委員会で承認されましたので、来週からメンバーとして迎え入れたいと思います。よろしくお願いいたします。



御挨拶

ガバナー補佐 魚津 寛 様

カバナー公式訪問前に各クラブを回り、特徴などを報告するために来ました。8月の短期交換留学生の受入れについて、ごくろうさまでした。本年度に入り2回程8クラブの会長 幹事に集まってもらい会合を開きました。お互いの情報交換や今年度やりたいことの相談をしました。その中で8ク



ラブの「合同例会」をやろうということになりました。来年の3月か4月になります。魚津RCでもいくつかの合同例会をやっておられますので、その中の5クラブ合同例会を充てればいいのではないかと思います。それとこれまでは例えば朝日RCと滑川RCとの交流がなかったので、会長 幹事の定期的な懇談会を開くことにしました。それによって第一分区としての「合同で何かやれること」を見つけていきたいと思います。これからも魚津RCへちょくちょく顔を出してみなさんとお話していきたいと思います。

本日の卓話

ゲスト卓話 魚津市企画政策課主幹 稲村 修 様

これで3～4回魚津RCでお話しています。本職が水族館の学芸員なのでこれまでは「魚の話し」が主でしたが、昨年度から企画政策課に移り、「地域資源を活かした街づくりプロジェクトチーム」というものを置き、私がリーダーになりました。メンバーは15人で「行政経営戦略会議」という市役所の中の最高意思決定機関に「事業の提案」を行なうことになっています。

市役所とは何なのか、についてホームページにも載っていません。各部や各課の役割は載っていますが、市役所そのものについてはありません。総合商社みたいな形になっています。一つの自治体ですが、詳しく書いたものがないので、組織としてはおかしなものになっています。

市の総合計画」というのは来年から10年間、市役所がどういう方向に進むのかを決めていますが、市民の方にはあまり知られていません。10年前に決めた魚津市全体の都市像では「人と自然と文化が共生する元気都市魚津」、言葉では聞いたことがあると思います。言わばマニフェストみたいなものです。市役所と市民とはどういう関係なんだろうか。私は「契約」だと思っています。

続いて質問にお答えします。**地元活性化のための税金の使い方**（理事の声）これは「住民の声をよく聞いて優先順位を考えるように」ということでしょうか。そうであれば私も同感です。市の財政課長は「自分呼んでもらえば説明する」とのことでした。**都市計画道路の遅れは何故か**。場所はどこか分かりませんが、8号線のバイパス工事もそうですが、埋蔵文化財の調査をしながら工事を進めていますが、大きく遅れているわけではありません。市内の中にも都市計画道路がありますが、まだ整備されずに残っています。どうしてかと言うと、「もうできない」ところだからです。計画を立てたのが昭和30年以前で今は家が建っていたりして工事ができないからです。**片貝開発**について。魚津といえば屋気楼や魚がありますが、他にも地域資源を探したところ、一つの大きなものは「水循環」でした。3000メートルの山と1000メートルの深海が20数キロの間に直結しています。これが魚津の特徴です。これらの自然をどのようにして守っていくのか、そして、これをどのようにして全国・世界に発信していけるか、などについてプロジェクトチームで勉強しながら提案していきたいと思います。



以上